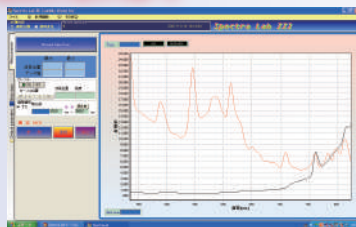


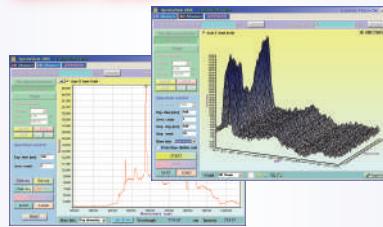
○ ご要望のソフトウェアをご用意いたします。

SpectraView S



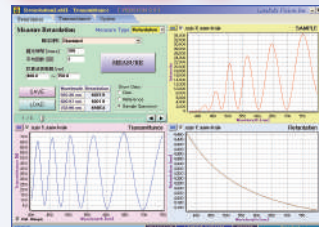
研究機器製品標準の無償ソフトウェアです
本ソフトウェアでも様々なことが可能です

SpectraView2000



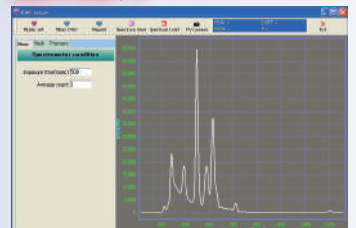
研究開発用の様々な分光計測が可能です。
光電子増倍管の使用や分光器駆動、ディレイ
ジェネレータのコントロール、前置分光
器との結合等様々です

RetardationLab



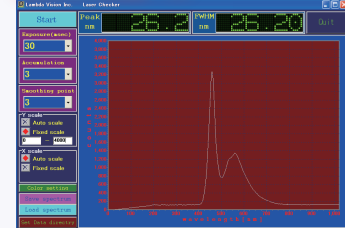
分光器を使用して試料の複屈折量を計測し
ます。偏光顕微鏡との組み合わせに最適で
す

DAC scope



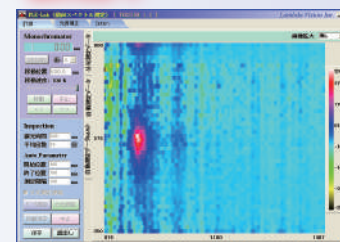
ルビー蛍光による圧力測定をサポートしま
す。基準スペクトルと計測スペクトルから
自動的に圧力表示します

LaserViewer



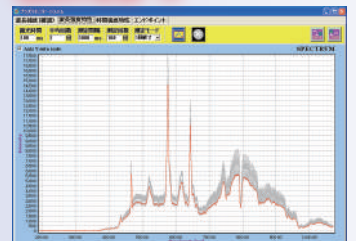
様々なレーザーのピーク波長、半値幅を自
動表示します

PLE Lab



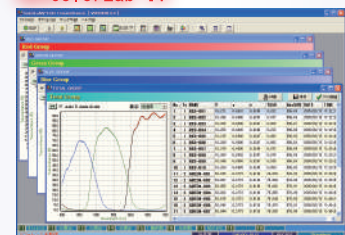
励起光源分光器を自動スキャンし励起波長
毎の蛍光スペクトルを測定することで
励起-蛍光マップを作成します

PlasmaViewer



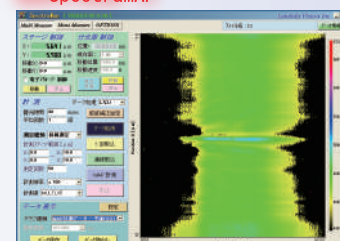
プラズマモニタ用に最適のプログラムです
ユーザー設定で様々な強度変化を自動検出
し外部へ検出信号を出力します

ColorLab IV



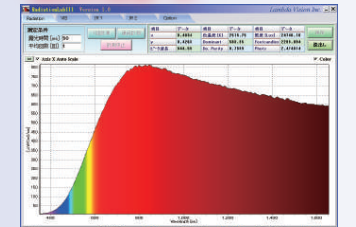
物体色計測に最適のプログラムです、RGB顔
料の計測に必要な機能が満載されていま
すので様々な分野でも利用できます

SpectraMAP



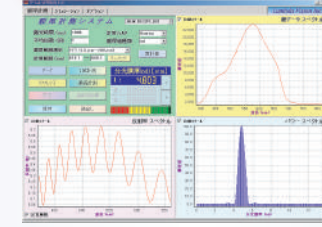
XY自動ステージ同期にてスペクトルを計測し任
意蛍光波長でマップ表示いたします、電子顕微
鏡の電子線コントロールも可能ですのでカゾ
ドルミネッセンスにも最適です

RadiationLab



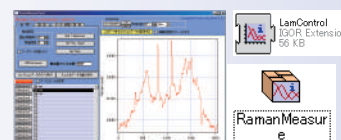
光源の計測に使用します。分光放射照度、
分光放射輝度、全光束、色温度、色度等が
簡単に計測できます。可視と近赤領域の同
時計測も可能です

TF Lab



50nm~500μmまでの膜厚計測に最適です、
厚み測定のみではなく光学定数n、kの解
析も行うことができます

Igor計測

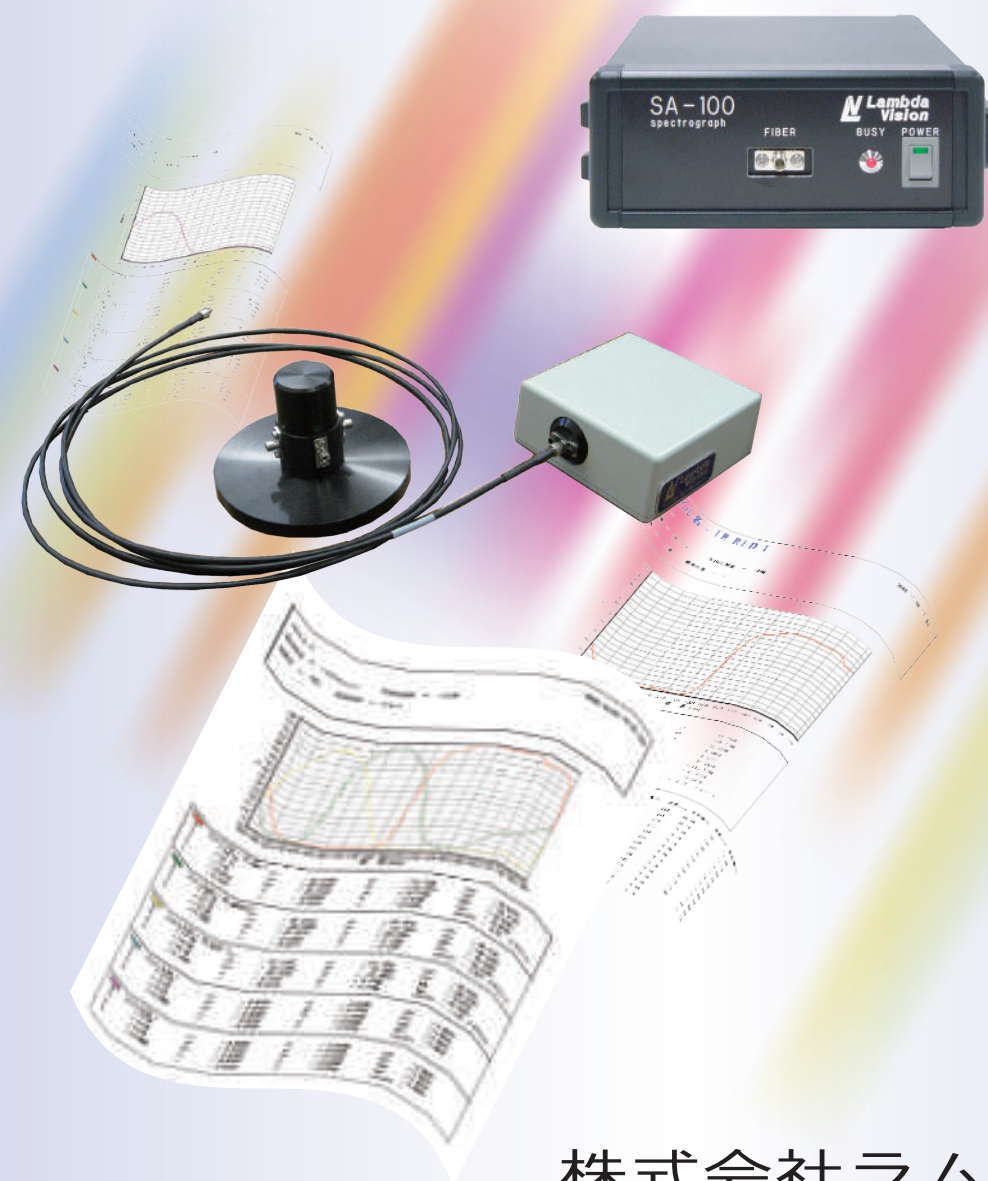


市販汎用スペクトル処理プログラムIgorを
使用しての計測するためのライブラリをご
提供いたします。

**Lambda
Vision**
Revolutionary Spectrograph Technology

紫外から近赤外領域まで
研究機関用小型瞬間分光計測ユニット

SA-100



株式会社 ラムダビジョン
〒252-0232
神奈川県相模原市中央区矢部3-9-14
TEL:042-707-0829 FAX:042-707-0839
mail : support@lambda-vision.co.jp
Web : http://www.lambda-vision.co.jp

代理店

株式会社ラムダビジョン
http://www.lambda-vision.co.jp

SA-100 低価格/高性能 光源内臓型ファイバ分光計測ユニット SA100シリーズが新しくなりました

200nm-2500nm の波長範囲よりお選びいただけます

SA-100分光検出ユニットはお手持ちのパソコンのUSBに接続して使用する最も一般的で格安な分光ユニットです。安定性や感度においても十分な性能を有しており、内部シャッター内臓可能で簡単にバックグラウンド計測が行えます。

透過率分光 外部開始
反射率分光 外部同期
吸光度分光 高速連続計測
蛍光分光 USB2.0



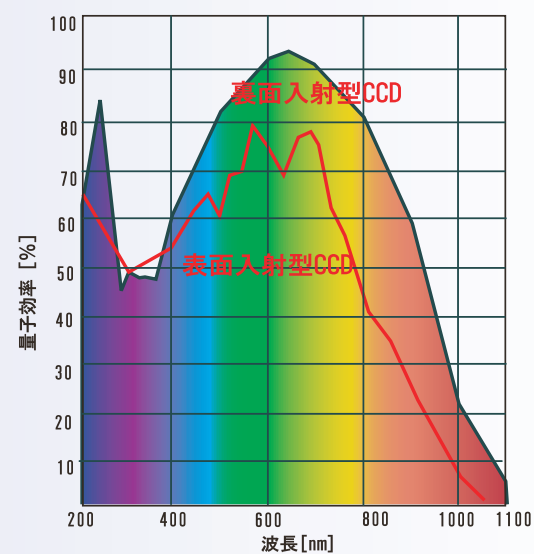
顕微分光として

様々なオプション記号指定で全てのお客様に対応させていただきます。
(注) オプションの選択内容でケースの大きさは変更されますのでご注意ください！



共通仕様	
A/D	16 bit
焦点距離	波長範囲、素子長に依存します。
明るさ	F/3~F/6
ファイバー	0.5 m (SMA,FC,スリーブ)~
S/N	ノイズ幅約25カウント以下 (Exposure:30msec) 1:2600以上 (素子に依存)
露光時間	7msec~20分 素子に依存
インタフェース	USB2.0(標準)
OS	Windows 7 / 8 (32bit/64bit)

素子感度特性



■物体計測用

計測ターゲットが物体の反射/透過に必要なアクセサリを取り揃えました

標準サンプル

標準反射板、標準透過NDフィルタ、標準透過液体試料は様々な試料の校正基準データとして利用できます。(検定書付)

光源

紫外から近赤外の安定光源です。

標準基準試料

標準反射板、標準透過NDフィルタ、標準透過液体試料は様々な試料の校正基準データとして利用できます。(検定書付)

可変型全反射ユニット

角度可変型の反射計測ユニットです。手動のみではなく、自動可変ユニットも用意してあります。

全反射・透過ユニット

反射角度5度を実現した簡易、低価格な全反射計測ユニットです。試料の絶対反射率が計測可能です。

キセノンランプ

◎ 150W
◎ 300W

D2ランプ

◎ 10W
◎ 30W

ハロゲンランプ

◎ 50W
◎ 100W
◎ 150W

■液体計測用

計測ターゲットが液体の反射/透過/蛍光に必要なアクセサリを取り揃えました

液体セル計測

液体の透過/反射/蛍光を計測するセルです。

液浸プローブ

液体専用の吸収計測プローブです。先端を液体につけるだけで簡単に計測できます。

標準試料

透過率が第3者機関で校正されたフィルタと液体試料です。

■その他

その他様々なアクセサリが用意されております。

計測簡易顕微鏡

LED光源計測顕微ユニット

計測光ファイバー

Cマウント～SMA変換ユニット

Cマウント～画像カメラビームスプリッター

蛍光計測レーザ

ラマン計測や、蛍光計測において使用されるレーザ光源です。532nm、785nm等様々な種類がございます。

SA-100/A013-023 InGaAs/近赤外分光計



近赤外InGaAs素子のフォトダイオードアレイを使用しております。
素子数は256CHと512CHを取り揃えております。
冷却付きにより高感度で近赤外計測が可能です。

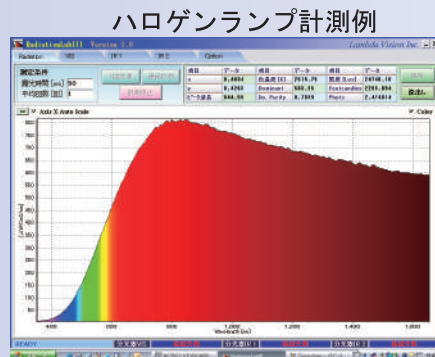
SA-100/VR 可視領域／近赤外領域 一体型分光計

可視から近赤外領域までを同時計測！

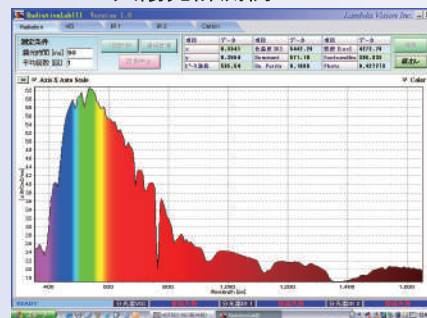


SA-100VR/C
(高感度型) 1024CH CCD (350~1000nm)
256CH InGaAs (1000~1650nm)

ランプ計測例



太陽光計測例

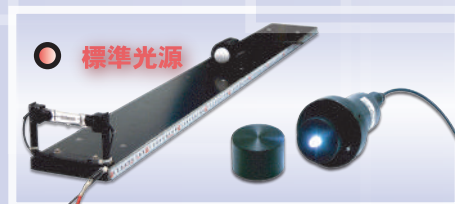


アクセサリ

SA100を使用する分光計測の中で利用できます
アクセサリです

■光源計測用

計測ターゲットが自己発光光源の場合に必要なアクセサリを取り揃えました



標準光源
分光放射照度用の標準光源です。

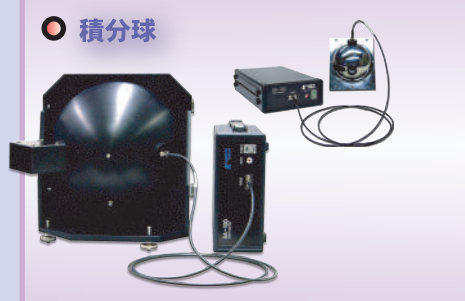
標準LED
光源計測に利用される標準LEDです。
米国NISTにより校正されております。
赤、青、緑、白の標準LEDがございます。

○ 分光放射照度計測ユニット



光源の分光放射照度を精度よく測定するためのアダプタです。

○ 積分球



標準で大型(Φ25cm)小型(Φ12cm)の積分球です
全光束等の計測には最適です。

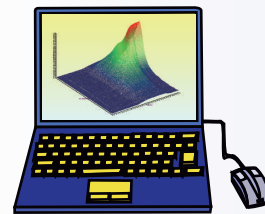
○ 分光放射輝度計測ユニット



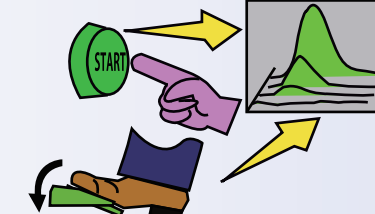
LCDディスプレイ等の分光放射輝度測定を
簡単に行ないます。
計測位置はTVカメラや目視にて確認できます。

■様々な計測開始が利用できます ・ ・ ・ ・ 高速反応変化測定に最適！

マウスクリックによる開始

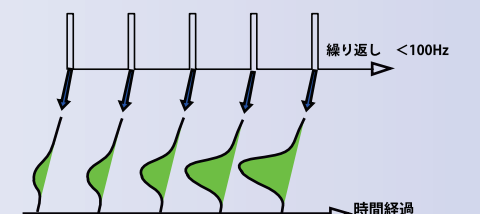


外部スタート信号での開始



オプションフットスイッチによる開始

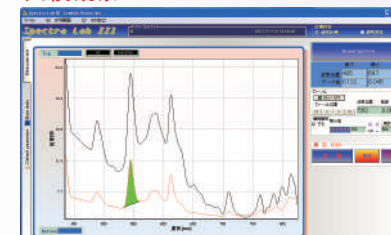
外部のクロックによる同期測定



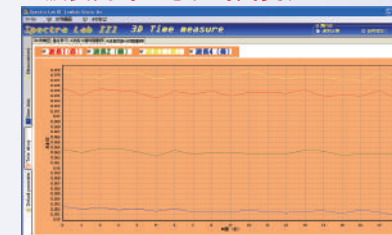
■ソフトウェア

SpectraLab IV

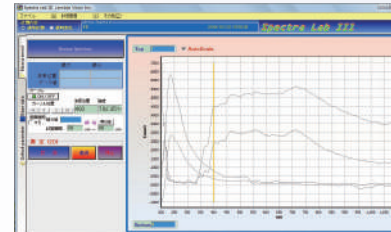
面積観察



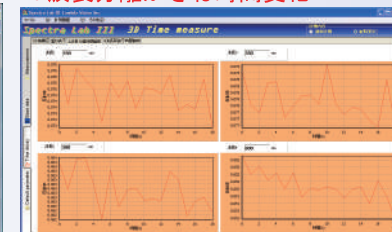
4波長同時かさね時間変化



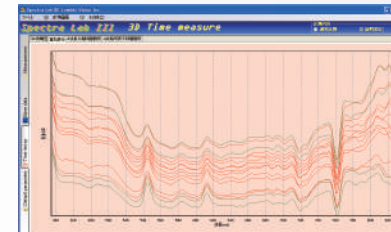
スペクトルの重ねがき



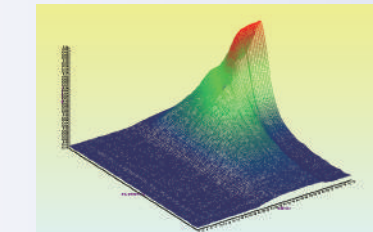
4波長分離かさね時間変化



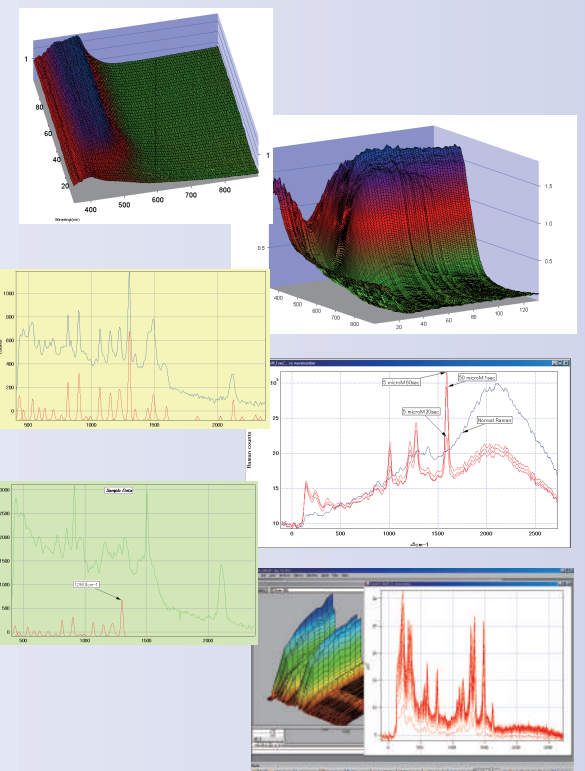
時間変化＝連続重ねがき



時間変化鳥瞰図(波長-強度-時間)



Igorでの表示



■アクセサリ



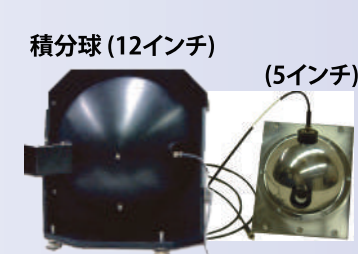
透過／反射／蛍光
セルホルダ



透過標準試料



分光放射照度アタッチメント



積分球 (12インチ)



垂直反射Y分岐
ファイバー

SA-100は以下のオプション記号の組み合わせで商品内容が決定されます。

★（Ａ）検出素子選択
A 0 0 1 ～ A 0 2 4の中から使用素子を選択してください。

型番	素子	S	E	横	縦	H×V	L	V	冷	Tp
A001	Hamamatsu	200	1050	2048	1	14×200	28.8	0.2	No	CCD
A002	Hamamatsu	200	1050	2048	16	14×224	28.6	0.2	No	CCD
A003	Hamamatsu	200	1100	1024	1	25×2500	25.6	2.5	No	PDA
A004	Hamamatsu	200	1100	2048	64	14×14	28.6	0.89	No	CCD
A005	Hamamatsu	200	1100	2048	122	12×12	24.5	1.5	No	CCD
A006	Hamamatsu	200	1100	2048	122	12×12	24.5	1.5	Yes	CCD
A007	Hamamatsu	200	1100	1024	122	12×12	12.3	1.5	No	CCD
A008	Hamamatsu	200	1100	1024	122	12×12	12.3	1.5	Yes	CCD
A009	Hamamatsu	200	1100	2048	256	12×12	24.5	3	No	CCD
A010	Hamamatsu	200	1100	2048	256	12×12	24.5	3	Yes	CCD
A011	Hamamatsu	200	1100	1024	256	12×12	12.3	3	No	CCD
A012	Hamamatsu	200	1100	1024	256	12×12	12.3	3	Yes	CCD
A013	Hamamatsu	900	1670	256	1	50×250	12.8	0.25	No	InGaAs
A014	Hamamatsu	900	1700	256	1	50×250	12.8	0.25	Yes	InGaAs
A015	Hamamatsu	900	1670	256	1	50×500	12.8	0.5	No	InGaAs
A016	Hamamatsu	900	1700	256	1	50×500	12.8	0.5	Yes	InGaAs
A017	Hamamatsu	900	1670	512	1	25×250	12.8	0.25	No	InGaAs
A018	Hamamatsu	900	1700	512	1	25×250	12.8	0.25	Yes	InGaAs
A019	Hamamatsu	900	1670	512	1	25×500	12.8	0.5	No	InGaAs
A020	Hamamatsu	900	1700	512	1	25×500	12.8	0.5	Yes	InGaAs
A021	Hamamatsu	900	2050	256	1	50×250	12.8	0.25	Yes	InGaAs
A022	Hamamatsu	900	2250	256	1	50×250	12.8	0.25	Yes	InGaAs
A023	Hamamatsu	900	2500	256	1	50×250	12.8	0.25	Yes	InGaAs
A024	特注素子	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注1)素子 素子メーカー
(注2)S 利用可能短波長
(注3)E 利用可能長波長
(注4)横 横素子数
(注5)縦 縦素子数
(注6)H×V 横×縦長さ (μm)
(注7)L 素子全体長さ (mm)
(注8)V 素子全体高さ (mm)
(注9)冷 冷却あり/なし
(注10)Tp 素子タイプ

★（Ｂ）波長範囲選択
（Ａ）の素子選択で選択した素子の波長範囲内で希望波長領域を選択します。
（例）B 4 0 0－7 0 0 4 0 0nm から7 0 0nm を素子の長さの中に利用します。
（例）B 3 0 0－1 0 0 0 3 0 0nm から1 0 0 0nm を素子の長さの中に利用します。
（注意）選ばれた範囲よりも実際は最大で2～1 0 %程度広く設定されます。
（注意）波長を広く取りすぎますと分解能が悪くなります。分解能はスリット幅にも影響されます。

★（Ｃ）スリット選択
入射スリットを設定します。
5、1 0、2 5、5 0、7 5、1 0 0、2 0 0、5 0 0、1 0 0 0 μmより選択。
入射コネクタを同時に選択します
-T P 1（SMAコネクタ）-T P 2（FCコネクタ）-T P 3（SUSスリーブ）
選択標準記号：-V S 交換式ミットにする場合に付加してください。
（例）C-T P 1-1 0 0 SMA コネクタで1 0 0 μmスリットを利用します。
（例）C-T P 3-V S 5 0-V S 1 0 0-V S 2 0 0 SUSスリーブアダプタで5 0、1 0 0、2 0 0 μmスリットを交換式にて利用します。

★（Ｄ）光ファイバ選択
ファイバ長さをmm単位で設定します。
選択標準記号：-T P 1（SMAコネクタ）-T P 2（FCコネクタ）-T P 3（φ6.4mm, SUSスリーブ）
入射側と出射側で設定します。
（例）D-T P 1-T P 1-2 0 0 0 入射 SMA-出射 SMA コネクタで2 mファイバを利用します。
（例）D-T P 1-T P 3-3 0 0 0 入射 SMA-出射 SUS スリーブで3 mファイバを利用します。

★（Ｅ）シャッター/ポインタ光源内蔵の有無
分光器内部にシャッターを設置できます。
シャッター機能により暗電流測定が簡単になります。
ポインタ光内蔵で顕微鏡測定時位置の確認が容易になります。
選択標準記号：SH(シャッター内蔵) PT(ポインタ光内蔵)

★（Ｆ）光源内蔵の有無
分光器ユニット内部に透過率、反射率、蛍光用の重水素ランプ（D2）、ハロゲンランプを内蔵できます。
選択標準記号：-LPD2（重水素ランプ）,LPW（ハロゲンランプ）,LPWD2(ハロゲン+重水素)

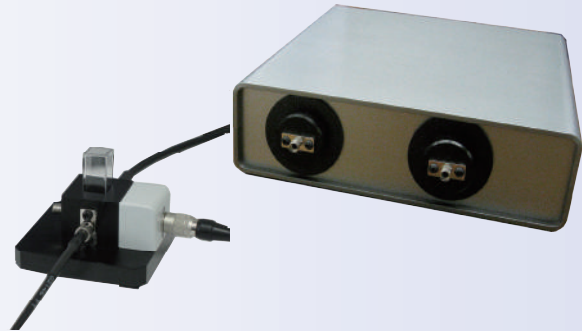
SA-100/A001-002 200nm～1050nmまでの広範囲 低価格

- 200nm～1050nmの間で波長範囲を選択いただけます。
 - スリット幅をお選びいただけます。
(10, 25, 50, 100, 200, 300μm 標準＝50μm)
- PCのUSBポートより電源を供給します。
※ 標準にて光ファイバは付属いたしません



SA-100/A001-002/LPW 光源内臓の優れものです 低価格

SA-100/A001もしくはSA-100/A002と光源部を同一ケースに収納しました。
SA-100/A001/LPW（ハロゲンランプ内蔵）
SA-100/A001/LPWD2（ハロゲンランプ＋D 2（重水素））
より選択できます。
専用の吸光度セルホルダにて簡単に吸光分光スペクトルや反射スペクトルが測定できます。



SA-100/A004-012 高感度／高性能

背面照射型のCCD素子を使用しております。
冷却付き選択の場合は-2 5度Cでの冷却により非常に高感度です。

<アプリケーション>
ラマン分光 / フォトルミネッセンス（PL）/ ルビー蛍光圧力モニター
微小領域顕微分光測定 など様々な用途に利用できます。

